

果樹、いちご、花き類の病害防除に

# トレノックス®

## フロアブル

### 汚れが少ない。

フロアブルのため、  
従来の水和剤よりも  
果実が汚れません。

### 使用適期が長く、 安全。

落花直後から使用でき、  
サビ果の発生も少ないため、  
生育初期～中期の  
病害防除に最適です。

### 広範な病害に有効。

予防効果が高く、  
混発する主要病害を  
同時に防除できます。

### 様々な作物に有効。

果樹以外に  
いちご、花き類にも!!

**茶**に  
適用拡大!!

果樹の  
病害防除に

# トシノックス<sup>®</sup>フロアブル

チウラム水和剤

## 適用病害及び使用方法

有効成分：チウラム 40.0%

■人畜毒性：普通物\* \* 毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チウラムを含む 農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 黒点病 褐斑病 すす点病 すす斑病 赤星病 炭疽病 輪紋病 灰色かび病	500倍	200~700ℓ	収穫30日前まで	5回以内	散布	5回以内
なし	黒斑病 黒星病 赤星病 心腐れ症 (胴枯病菌) 炭疽病 褐色斑点病			5回以内 (休眠期は1回以内)			
もも	黒星病 灰星病 縮葉病 せん孔細菌病			5回以内			
かき	落葉病 炭疽病 うどんこ病			2回以内 (休眠期は1回以内)			
すもも	ふくろみ病 炭疽病			3回以内			
ネクタリン	黒星病 灰星病 縮葉病 せん孔細菌病			5回以内			
おうとう	褐色せん孔病 炭疽病 灰星病 幼果菌核病			5回以内 (萌芽後は2回以内)			
あんず	かいよう病			3回以内			
うめ	黒星病			2回以内			
ぶどう	晩腐病 べと病 灰色かび病 褐斑病 黒とう病			1000倍			収穫60日前まで
いちご	炭疽病	500倍	100~300ℓ	育苗期	5回以内	7回以内(育苗期は5回 以内、生育期は2回以内)	
				生育期 但し収穫開始 21日前まで	2回以内		
茶	新梢枯死症	400倍	200~400ℓ	摘採21日前まで		2回以内	
りんどう	褐斑病 葉枯病 炭疽病 灰色かび病	500倍	100~500ℓ	発病初期	6回以内	6回以内	
花き類・ 観葉植物 (りんどうを除く)	灰色かび病 炭疽病						

## 使用上の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- 銅剤との近接散布は葉の汚れを生じるので注意してください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑葉にかからないように注意して散布してください。
- あんずに使用する場合、果実に汚れを生じるおそれがあるので、落花30日後以降の散布はさけてください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期~袋掛けまでの散布は、果房の汚れや果粉溶脱を生じるおそれがあるので十分注意してください。
- シクラメンに使用する場合、花卉に薬害が生じるおそれがあるので、花柄伸長期以降は使用しないでください。
- いちごの開花期以後の散布は、果実の汚れを生じるおそれがあるので十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 誤飲に注意してください。  
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類、藻類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密栓し、直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年12月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。★空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。